

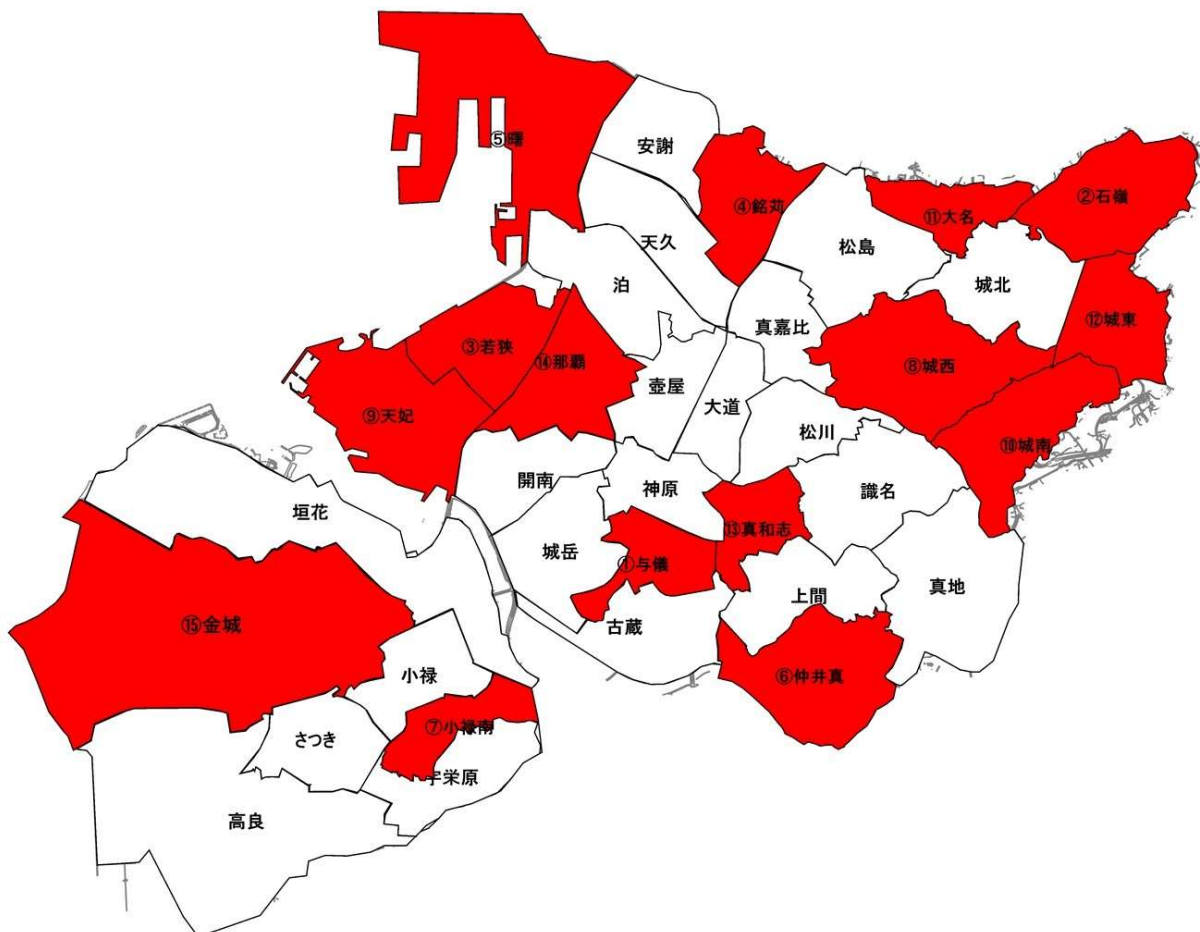
なはの未来は
「地域」が創る

地域コミュニティの しくみづくりハンドブック



もくじ

はじめに	… 1 ページ
1 新しい地域コミュニティのしくみについて	… 2 ページ
2 校区まちづくり協議会設立までの流れ	… 4 ページ
(1) 地域の機運を高めよう	… 6 ページ
(2) 地域会議をしよう	… 7 ページ
(3) 地域の声を拾おう	… 8 ページ
(4) 組織のカタチを検討しよう	… 12 ページ
(5) まちづくり計画/未来新聞をつくろう	… 13 ページ
3 那覇市も応援します	… 15 ページ



那覇市の校区まちづくり協議会設立状況（令和6年1月時点）

はじめに

近年、人口減少、少子化・高齢化、生活スタイルや価値観の変化など、社会の状況が大きく変わり、それに伴い、地域の困りごとが多様化・複雑化しています。地域では、目的に応じてさまざまな個人や団体がまちを良くするための活動を行っていますが、地域活動の担い手の不足や高齢化などが進み、今後、さらに多様化・複雑化していく地域課題への対応が難しくなることが考えられます。

このような中で、地域の困りごとをしっかりと解決しながら、元気で魅力あふれる持続可能なまちにしていくためには、“地域コミュニティ”の力がとても大切です。

“地域コミュニティ”とは、ご近所さんやそこで働いている方、ボランティア活動やいろいろな活動をしている方などをメンバーとした、集まりやつながりのことです。この“地域コミュニティ”の力の大切さを最も実感しやすいのは災害の時です。東北や熊本での震災の時には、「地域や身近にいる人同士が協力し、助け合うことがいかに大切か、強く感じた」という声も聞かれました。

現在、問題なく活動できている地域でも、20年、30年後には活動が維持できなくなっているかもしれません。未来を見据え、今のうちに地域のつながりを強め、地域が一丸となって対応できるようにしておく必要があります。

そこで、那覇市では、地域の力を集めるしくみとして小学校区をエリアとした『小学校区まちづくり協議会』の設立をご提案しています。このハンドブックでは、『小学校区まちづくり協議会』設立までの手順を目安として提案していますので、地域の実情に合わせて柔軟に対応してかまいません。那覇市の地域コミュニティのしくみづくりについての話を聞いて、興味を持った方、取り組んでみようと思った方に手に取っていただき、ご活用いただければ幸いです。



1 新しい地域コミュニティのしくみについて

現在、地域では、自治会をはじめPTCAなど目的に応じてさまざまな個人や団体が活動しています。今後、さらに多様化・複雑化していく地域課題に対応するためには、これらの団体の連携を強め、多くの地域のみなさんが話し合って、自分たちの地域に必要なことを「地域で決めて、地域で実行する」しくみが必要だと考えています。

「地域で決めて、地域で実行する」しくみの主体となっていたきたいのが、小学校区まちづくり協議会です。



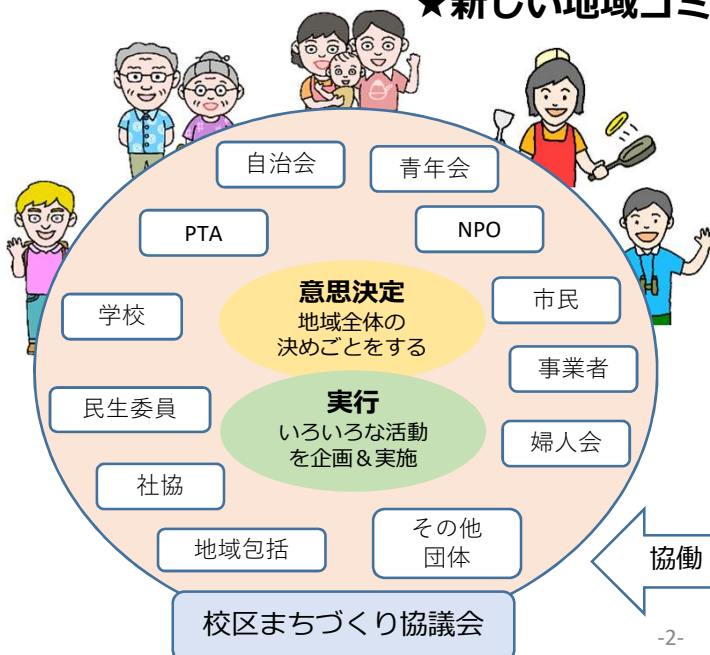
小学校区まちづくり協議会とは

範 囲：概ね現行の小学校区
構 成：自治会をはじめとする地域のさまざまな個人・団体で構成
活動内容：地域のみなさんで話し合って策定した「まちづくり計画」に基づく活動

那覇市がめざす将来像

自治会をはじめとした、地域で活動する個人・団体同士がさらに強くつながり、小学校区まちづくり協議会という一つの組織をつくり、地域力を集めて自分たちのまちは自分たちで良くしていく姿をめざしています。那覇市も地域と協働・連携して、さらなる課題解決にとりくむことをめざします。

★新しい地域コミュニティのしくみイメージ図



めざすのは・・・

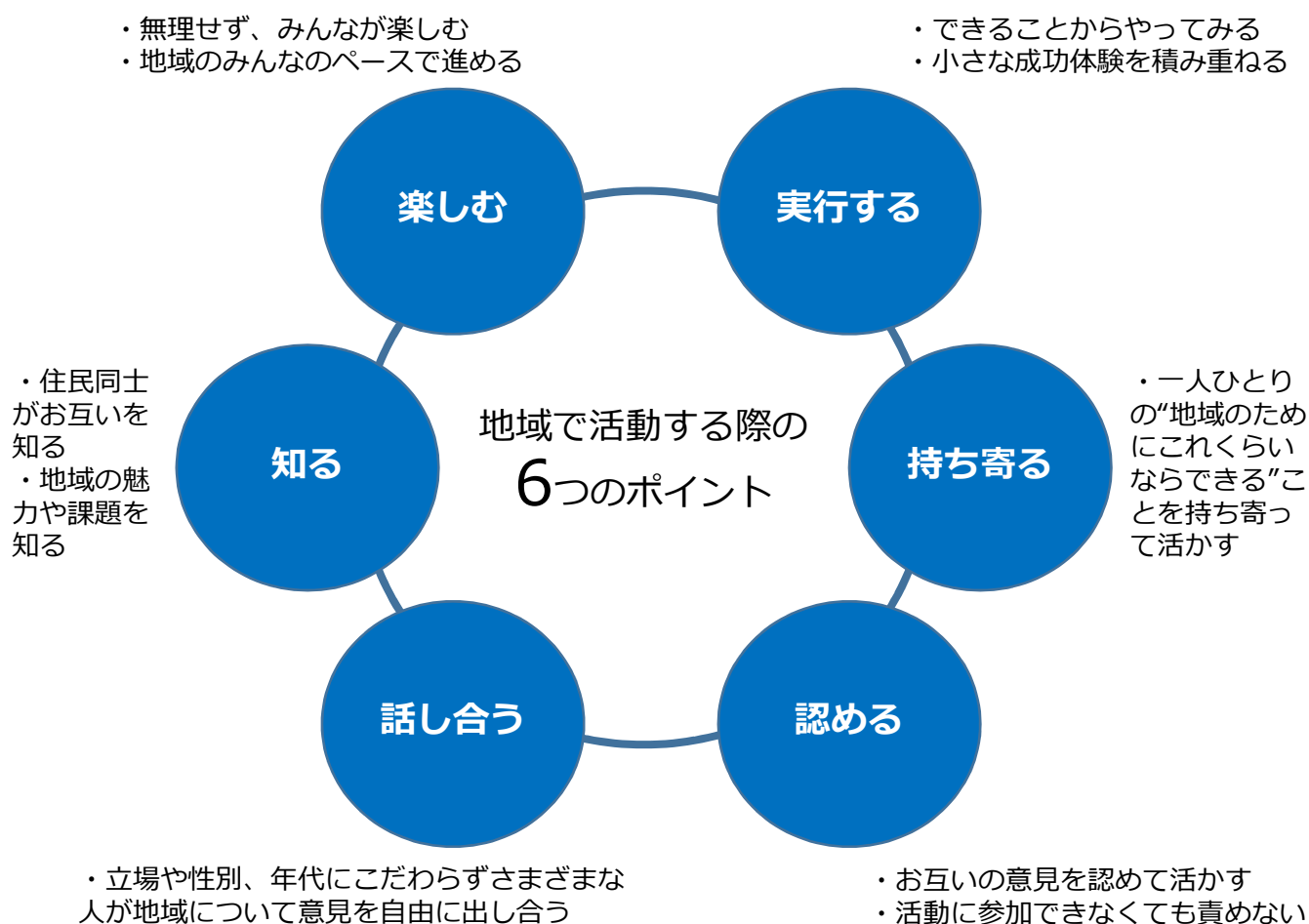
- ・住民みんながもっと参加する
- ・個人・団体同士がもっとつながる
- ・地域と市役所がもっとつながる



地域活動する際に大切にしたいこと

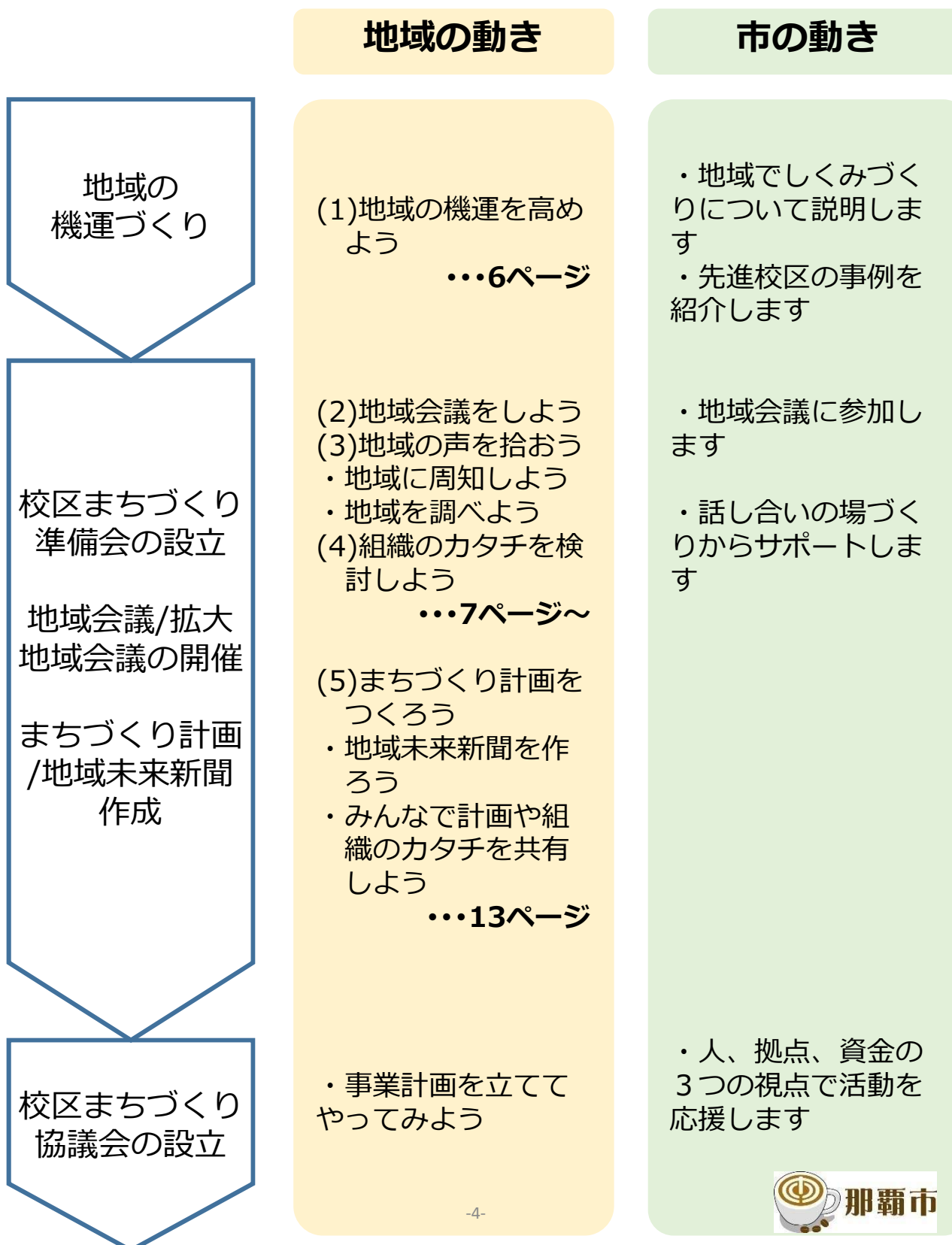
この新しい地域コミュニティのしくみは、那覇市において新たな取り組みです。

地域活動を進めていく中で、最初はどううまくいかないこともあるかもしれませんが、忘れてはいけないことは、地域に住む人や活動する人、一人ひとりが主役であるということです。一人ひとりが当事者意識を持って取り組めるように、みなさんの関心を集め、たくさんの人が参加し、お互いのコミュニケーションを取れるような工夫をしましょう。地域で活動する際には、次の6つのポイントを大切にしてみてください。



2 校区まちづくり協議会設立までの流れ

校区まちづくり協議会設立までの全体的な流れを紹介します。

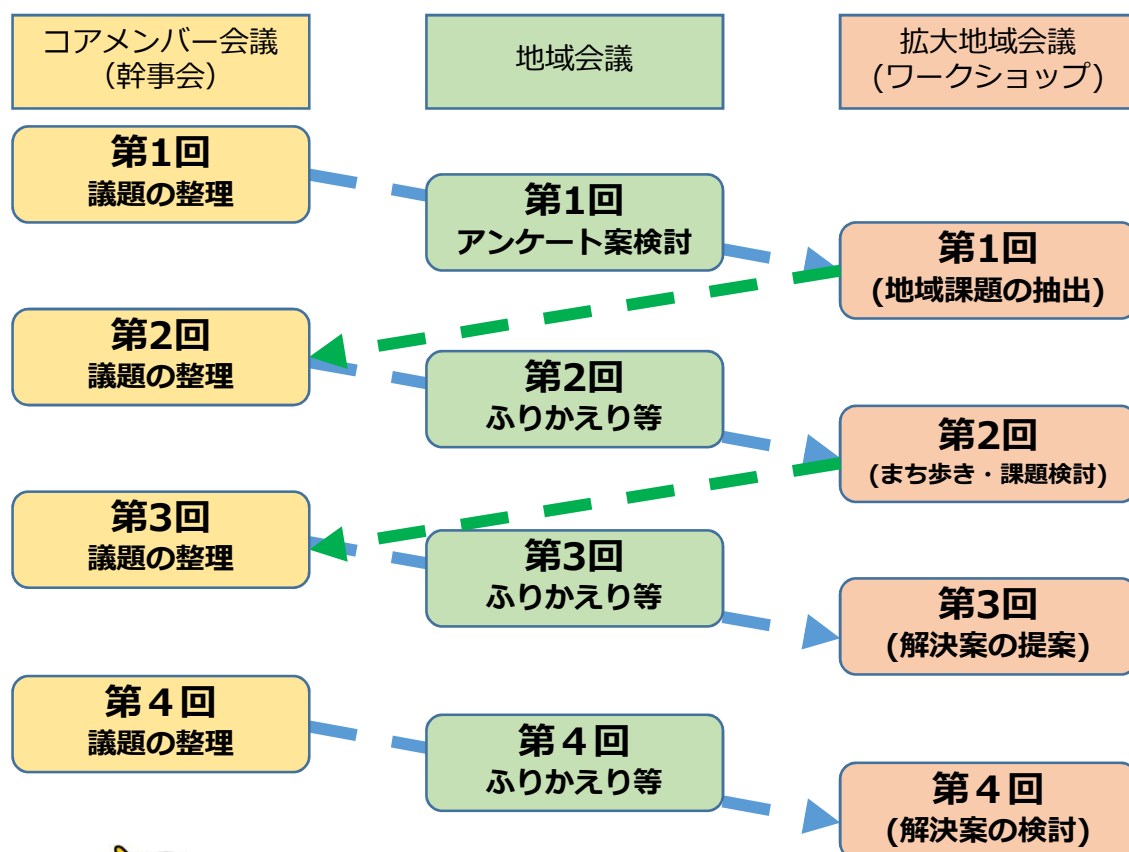


校区まちづくり協議会設立に向けて

小学校区まちづくり協議会を設立するには、市民の意識を盛り上げながら進めていく必要があります。そのためには、多くのみなさんの意見を集める話し合いの場（ワークショップ）を開くとともに、出された意見を整理したり方向性を決定するための地域会議、コアメンバー会議（幹事会）の場が必要になってきます。

名称	対象者	内容等
コアメンバー会議 （幹事会）	設立準備委員会の中でも中心となる人々	地域会議で図るべき議題等を整理、検討する場
地域会議	地域の各種団体・事業者の代表者等関係者及びその他必要な人々	拡大地域会議（ワークショップ）や協議会設立の準備をする場
拡大地域会議 （ワークショップ）	小中学生、若手なども含めた多様な人々	まちづくり計画に必要な意見やアイデアを集める場

【標準パターン】



進め方や回数は地域の実情に応じて地域と相談しながら決めていいんだよ

（１）地域の機運を高めよう

小学校区まちづくり協議会は、一人の人が必要性を主張するだけで進められるものではなく、地域全体の「やってみよう」という機運づくりも大切な要素です。

仲間を集めよう

地域の機運を高めるために、市民・自治会・地域団体などが集まり、新しい地域コミュニティのしくみについて理解を深めたり、先に取り組んでいる地域の事例を見たり、地域の現状を学んだりする場を地域で聞きましょう。

立場や年齢など関わりなく話し合い、それぞれが感じている地域の魅力や課題を出し合って、「こんなまちにしたい」という地域の将来への想いを共有しましょう。

このまちには高齢者ってどれくらいいるのかな？

既に取り組んでいるところを見てみたいね

話し合う

地域の現状、魅力や課題、個人・団体の活動内容などについて、話し合しましょう。

知る

地域の将来を考えるために、地域の情報を集めましょう。

考える

地域の特性に応じて、将来の姿や活動の進め方を考えましょう。



地域のさまざまな団体やたくさんの市民に参加してもらうことが大事だよ！

その中から、これからの地域を担う新たな人材が見つかるかもしれないね！



(2) 地域会議をしよう

校区まちづくり協議会の設立までには、活動内容を考えたり、決まりごとをつくったりといった準備が必要です。これらを中心となって行うために、地域のさまざまな団体を集めて地域会議をしましょう。地域会議をうまく進めるために、中心となるコアメンバーも選びましょう。

地域会議の 設置

地域会議の設置

まずは「コアメンバー会議（幹事会）」（10人程度）で地域会議で話し合う内容の「たたき台」をつくり、地域会議で検討、確認しましょう。

地域会議の初会合では、協議会設立に向けたの計画やメンバーの想いを出し合います。



地域会議はどんなメンバーがいいんだろう？

幅広いメンバー構成にするため、地域のいろいろな団体や住民によびかけよう！人数の目安は、地域によってさまざまだけど、15～30人が一般的だよ。



地域会議の 役割

地域会議の役割

地域会議の役割は、大きく分けて2つあります。

地域のことを
話し合う場を
つくる

地域アンケート
の実施

(3) 地域の声を拾おう/地域に周知しよう

地域には、さまざまな活動をしている個人や団体があります。何かしたい、〇〇ができると思っている人たちに参画してもらうためと、校区まちづくり協議会の存在を知ってもらうためにも地域アンケートを実施して、周知と同時に地域にかかわる人たちの属性や想いを集めます。

地域アンケート項目（案）

問1.あなた自身やご家族についておたずねします。

あてはまる番号に、それぞれ1つずつ〇をつけてください。

①年代	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60代	3. 30代 7. 70代	4. 40代 8. 80代以上
②家族形態	1. 単身（ひとり暮らし） 2. 2世代（親子） 3. 3世代以上			
③住宅形態	1. 戸建て住宅（持ち家） 2. 戸建て住宅（賃貸） 3. 賃貸住宅（アパート、賃貸マンション） 4. 集合住宅（市営、県営など）			

問2.地域活動について、どのくらい参加したいと思いますか。

あてはまる番号に、〇をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 地域の中心メンバーとなって様々な活動に取り組みたい |
| 2. 月1回程度の意見交換のみ（対面） 3. 月1回程度の意見交換のみ（オンライン参加） |
| 4. 行事や美化活動のみ 5. 飲み会があれば参加したい 6. 地域活動への参加は考えていない |

問3.どのような地域活動に興味や関心がありますか。

あてはまる番号に、〇をつけてください。（複数回答可）

- | |
|--|
| 1. 環境美化 2. 地域福祉（見守りなど） 3. 防犯・防災 4. 地域交流 |
| 5. 子どものイベント 6. その他（ ） |

問4.〇〇小学校区の魅力や、誇りに思うことをお聞かせください。

--

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

〇月〇日に予定しておりますワークショップ（意見交換会）にて、参加のみなさんに共有するとともに、随時那覇市のHPでも公開予定となります。

ワークショップへのご参加、心よりお待ちしております。

地域のことを話し合う場をつくる

アンケートの集計結果を踏まえ、地域のことを話し合う「**拡大地域会議（ワークショップ）**」で地域の課題やその課題解決のアイデアなどを出し合います。

準備会の 設立

第〇回 地域会議

話し合いの場の
準備（周知方
法・当日のプロ
グラムの検討・
連絡調整等を行
います）

拡大地域会議 （ワークショップ）

多くの住民を集め、自
由な意見交換を行いま
す

第〇回 地域会議

話し合いの場で
出された意見を
整理してまとめ
ます

拡大地域会議を開こう

話し合いの場を開き、地域住民のみなさんの意見をできるだけ多く集めましょう。那覇市では、ワークショップという手法で話し合いの場を開催することをおすすめしています。

拡大地域会議（ワークショップ）の概要

- 名 称 地域住民のみなさんが親しめる名称を考えましょう。
例）「〇〇サロン」「〇〇未来サミット」等
- 対象者 地域に関わる団体、個人等、子どもから高齢者まで、すべての人が対象です。できるだけ多くの参加を募りましょう。
- 内 容 全4回の話し合いで地域について考えます。
各回のテーマは次のとおりです。
第1回 地域の現状を知る（地域の魅力、課題について話し合う）
第2回 地域を歩いてみる（地域を見て、課題の現状について話し合う）
第3回 めざす姿を考える（地域の将来像を話し合う）
活動を探る（課題解決のためにやりたいことについて話し合う）
第4回 実行を考える（取り組みの優先順位や実行手段について話し合う）

第1回
拡大地域会議

ねらい：地域の現状を知ろう
地域の魅力、課題について話し合う

那覇市の統計資料や、まちあるきなどの活動を通して地域の現状を知り、活かしていきたい地域の魅力と改善すべき課題をグループで話し合います。



担い手が減って、
行事を開催するのが大変・・・

人口が減ってるなあ

地域の特産物を
もっとPRしたいね

第2回
拡大地域会議

ねらい：地域の魅力、課題を見てみよう
地域を歩いて、魅力や課題を再確認する

第1回の話し合いの場に出てきた魅力、課題を踏まえ、地域を歩いて実際に見てみます。地域を歩くことによって魅力や課題の再発見、新たな気づきを共有します。



この通りは交通量が多くて
危険な通学路かも

この公園、
活用できそう

こんなところにきれいな
花壇があったんだ

第3回 拡大地域会議

ねらい：めざす姿を考えよう

地域の将来像を話し合う

ねらい：どんな活動をするか考えよう

課題解決のためにやりたいことについて話し合う

第2回の話し合いの場に出てきた魅力、課題を踏まえ、地域の将来像を考えます。地域によっては将来像よりも先に具体的な活動内容のアイデアがでてくることも。

仲間を増やして、
一人の負担を減らそう

交流人口を増やそう

魅力を発信できる
まちをめざしたい



第4回 拡大地域会議

ねらい：どう実行するかを考えよう

取り組みの優先順位や実行手段について話し合う

第3回の話し合いの場に出てきた取り組みのアイデアについて、どれから取り組むか優先順位を考えます。さらに「誰が」「いつ」「どこで」「誰に対して」「どのようにして」実行するのかなども検討します。

何月までに消防団や
PTAに声をかけよう

試作品にはこれくらい
の費用がかかって・・・



校区まちづくり協議会の設立準備

(4) 組織のカタチを検討しよう

校区まちづくり協議会の運営に必要な組織の規約や組織のカタチ、まちづくり計画書など、設立に向けて必要な事項を検討します。

規約

組織の
カタチ

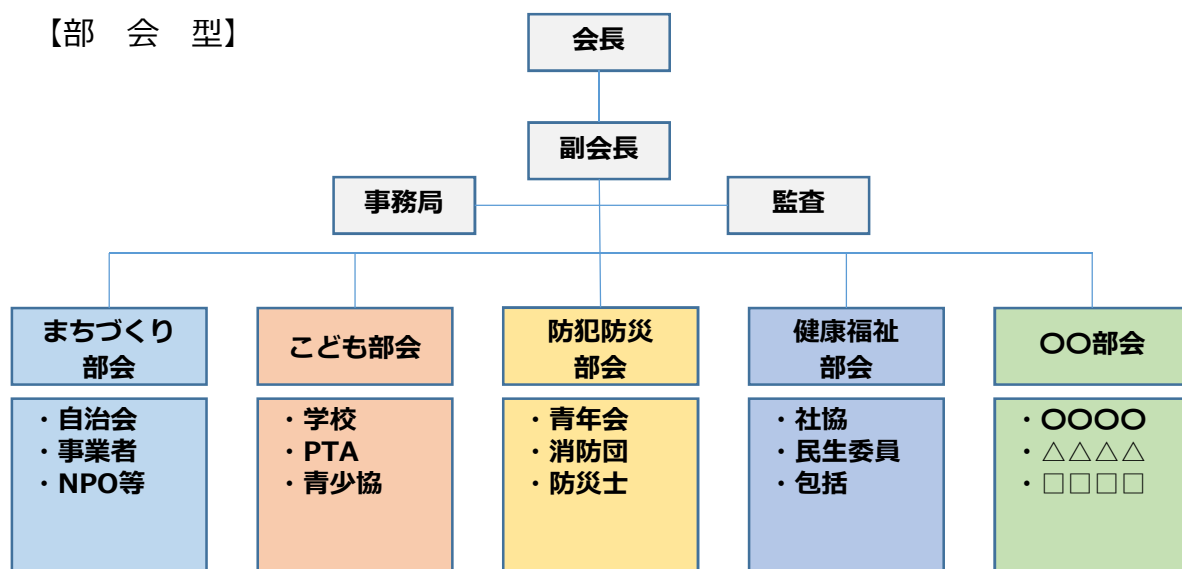
まちづくり
計画書

地域未来新聞



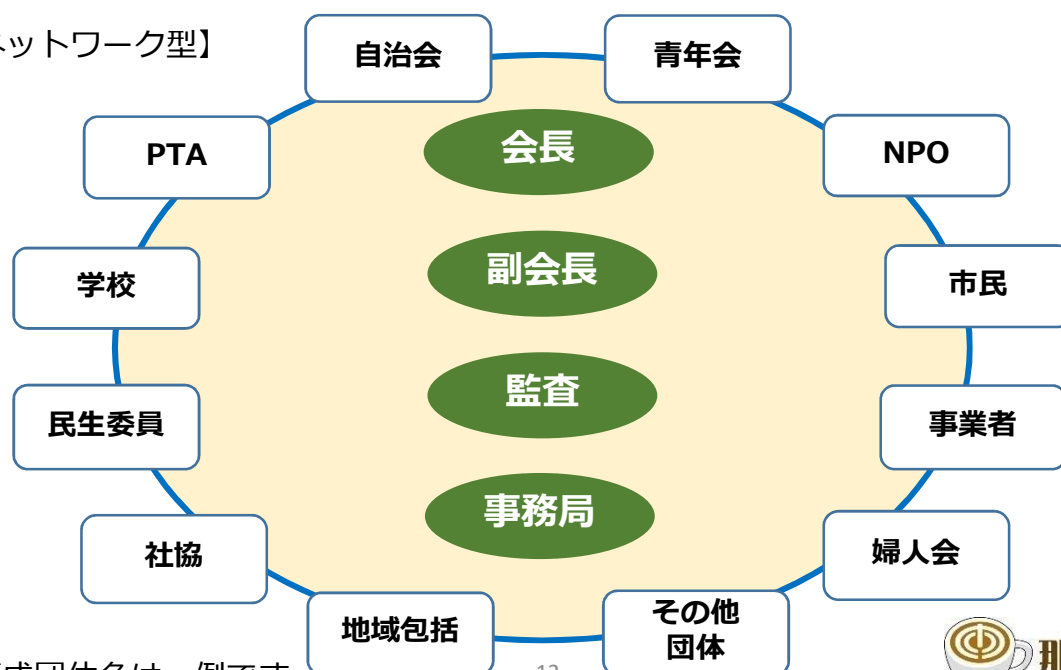
組織のカタチは地域でさまざまだよ！
地域の動きやすいカタチで体制をつくろうね！

【部会型】



※構成団体名は一例です。各部会は地域の実情に合わせて設置します。

【ネットワーク型】



※構成団体名は一例です。

(5) まちづくり計画/地域未来新聞をつくろう

これからの地域の活動を計画的・効果的に実行していくために、地域の課題、解決のための取り組みなどを記載した「まちづくり計画」を策定し、めざす地域の将来像を地域住民のみなさんと共有しましょう。

まちづくり計画って？

「まちづくり計画」は、話し合いの場（ワークショップ）で出てきた地域住民の「こんなまちにしたい！」「こんなことをしたい！」という想いを、基本理念や取り組みなどに分類してまとめたものです。

(例) ○○小学校区まちづくり計画

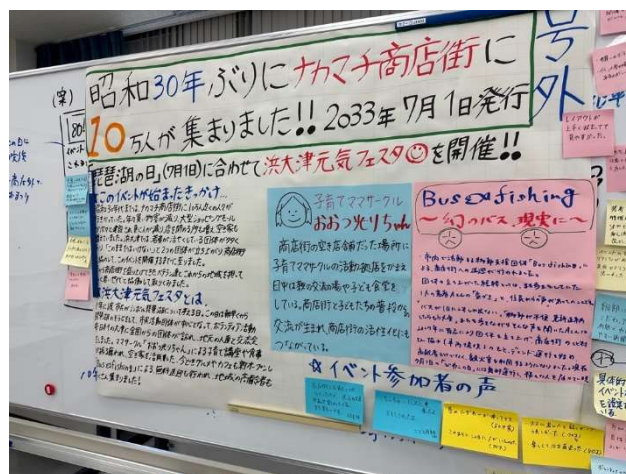
めざす将来像：世代を超え、人と人とがつながり、健康で暮らしやすいまち

	今の課題・問題	分野別の将来像	既に取り組んでいること	今後取組む必要があること
まちづくり分野	■自治会に加入しない世帯がある ■市民同士の交流が薄い	◆市民一人一人ができることを出し合い、生き生きと活動している	○自治会加入PRチラシの作成 ○祭りの開催	●隣近所の転入居に気を配り、入居後2か月は自治会加入を積極的に呼びかける ●各団体の行事を見える化し、調整する。効果的に広報する
子育て分野	■子育て世代の保護者が集える場が少ない ■.....	◆子どもたちの声が響き、子育てしやすい環境をつくる	○毎朝の交通安全の立哨運動 ○子どもを守るパトロール活動	●子育て世代が集まれる場をつくる ●.....

地域未来新聞って？

10年後の「こんなまちになってほしいな！」という想いをニュース形式にした「地域未来新聞」を作ってみましょう。10年後に、協議会設立時にめざした理想どおりになったか比較して楽しめま

す。





★ポイント★

まちづくり計画は「より多くの地域住民の想いを反映している」ことが大事

まちづくり計画はできるだけ多くの地域住民のみなさんから意見を集め、「こんなまちにしたい」という想いを反映させながらつくります。

そのためには、次の工夫をしましょう。

参加者への呼びかけ

大切なのはより多くの人に参加してもらうことです。多くの人に開催の通知を行いましょう。話し合いのテーマや経過をチラシなどで伝え、気軽に参加できる雰囲気を広めましょう。

会場づくり

活発な意見交換のためには、自由な空気づくりが大切です。上下関係を感じさせない席の配置や、グループ作りの際に発言しやすい人数に配慮するなど、会場づくりを工夫しましょう。

ルールづくり

会議では声の大きい人の意見が目されがちです。

ルールをつくり、みんなの意見を表に出しやすい工夫をしましょう。

(例)

- 否定、断定をしない。
- 相手の意見を遮らず、最後まで聞く 等

校区まちづくり協議会の設立

校区まちづくり協議会の設立

いよいよ校区まちづくり協議会のスタートです。

まちづくり計画書に掲げたビジョンを基本理念に、地域のつながりを大切に課題解決に向け、校区まちづくり協議会を運営していきます。



令和5年10月に結成した「金城小学校校区まちづくり協議会」

3 那覇市も応援します

那覇市も、人・拠点・資金の3つの視点で校区まちづくり協議会を応援します。

人

那覇市まちづくり協働推進課の職員が、校区まちづくり協議会の設立や継続的な運営をサポートします。

- ・話し合いの場のサポート
- ・講座や情報交換、先進地への視察を開催 など

拠点

地域の公共施設の活用について、ご相談をお受けします。

資金

準備会・協議会のまちづくり計画に基づく活動に対して、補助金を交付します。 ※補助金には上限があります。

おわりに

いかがでしたか？那覇市が推進している新しい地域コミュニティのしくみのうち、校区まちづくり協議会の設立までの手順についてご説明しました。本書がみなさまのまちづくりのヒントになれば幸いです。ただし、ここで気をつけていただきたいことは、校区まちづくり協議会の設立がゴールではないということです。

みなさまで決めた「こんなまちにしたい」という地域の目標を実現していくために、地域に応じた組織体制で取り組みを実行していく、地域の、地域による、地域のためのまちづくりのスタートです。

市民**みんな**が**参加**して、団体同士が**つながって**
地域と**市役所**がもっと**つながって**
まちづくりに取り組んでいきましょう

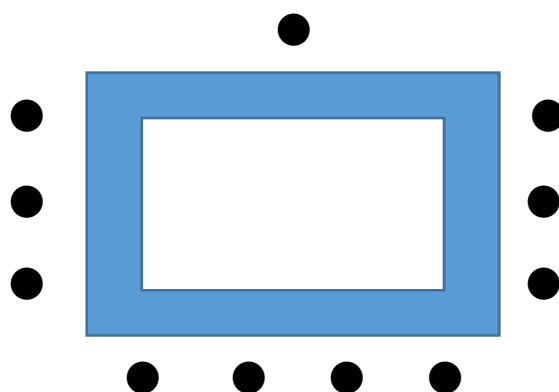
付録：地域の“話し合い”を変えてみましょう！

まちづくり計画を策定するにあたり、「ワークショップ」という話し合いの方法をご紹介しました。「ワークショップ」とは、元々の意味は「工房」「作業場」です。

まちづくりを進める上で最も大切なことは、市民のみなさん同士の「対話」と「共感」を呼び起こす「話し合いの場づくり」です。「ワークショップ」を使って地域の話し合いを変えてみましょう！

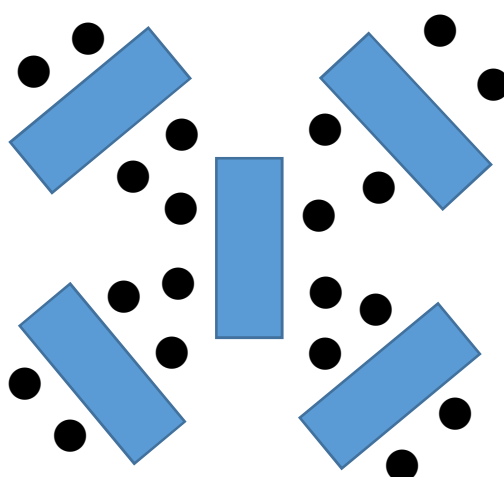
◆従来は・・・

地位がある人や情報を持っているひとからの意見が目立ち、他の参加者は自由な意見が言えないまま、物事が決定してしまいがち



◆これからは・・・

参加者が少人数のグループに分かれ、自由に意見を出し合い、楽しい雰囲気の中でみなさんが納得いく合意形成を図りましょう





じゃあ、具体的にどうしたらいいの？

1 会場づくりをしましょう！

ひとつのグループで話しやすく、盛り上がりやすいのは4人～5人です。
参加人数に応じて小さな島型のテーブルをいくつもつくりましょう

2 プログラムをかんがえましょう！

1回の話し合いの時間は2時間程度とし、それ以上かかる時は休憩を入れましょう。限られた時間で話し合いをするために、事前に話し合いのテーマと優先順位を決めておきましょう。

3 気軽に話し合うための小道具を準備しましょう

お互いを知るための「名札」や、意見を見やすく整理するための「模造紙」、「水性マーカー（裏写りしないもの）」などがあると便利です。

4 進行役・記録係を決めましょう！

ざっくばらんに話をする 것도大事ですが、意見を整理する進行役やみなさんの意見を“見える”ように書き留める記録係も決めておくと、話し合いがスムーズに進みます。

特に気を付けたいワークショップの5つのポイント

- 1 目的を明確にしておく : 何のために話し合うのか
- 2 ゴールを明確にしておく : 何をどこまで決めるのか
- 3 議題の順番を考える : どんな順番で話し合うか
- 4 ルールを決めておく : (例) 否定しない、1回の発言は1分以内など
- 5 メンバーを集める : 立場や性別、年代にこだわらず、様々なひとに呼びかける

少しの工夫で、話し合いは変わります。話し合いが変われば、地域の未来が変わります。できることから始めてみませんか。

市役所の職員も話し合いの場づくりをお手伝いします。ご相談ください。

付録：校区まちづくり協議会設立に向けた取り組みチェックリスト

			実施 年月日	項目	内容
1	機運熟成	☐		地域の機運を高めよう	同じ思いを持つ人や共感してくれる人を集めます。関わってほしい人たち、自治会やPTAなど地域で活動している人たちに声をかけましょう。 ☐ 自治会 ☐ PTA ☐ 民生委員 ☐ 包括 ☐ 学校 ☐ その他（ ）
2	準備会 設立準備	☐		地域会議をしよう	同じ思いを持つ人や共感してくれる人たちと話し合いを始めます。行政担当者呼んで校区まち協について説明してもらうことも可能です。（複数回の実施も可）
		☐		準備会役員を決めよう	準備会を設立するにあたり、役員を決めましょう。10名程度が目安です。
3	準備会	☐		地域に周知しよう	協議会設立に向けて取り組んでいることを地域住民にお知らせし、参加を促します。
		☐		地域の声を拾おう	地域住民の関心ごと、困りごと、伸ばしたい地域の魅力など意見を集めます。周知と一緒にアンケートをしても良し。
		☐		地域を調べよう	地域を再点検するためにも地域について調べます。まち歩きをして実際に見ることも大切です。ワークショップを重ねて考えを整理します。
		☐		まちづくり計画をつくろう	地域のめざす姿（ビジョン）を作ります。今後の活動の指針となる行動計画です。
		☐		地域未来新聞をつくろう	10年後の理想の姿を思い描き、新聞形式に仕上げます。10年後には、比較して楽しむことができます。
		☐		組織のカタチを決めよう	協議会として、部会型、ネットワーク型にするかなど組織のカタチを決めます。
4	協議会	☐		実際に活動してみよう	ゆるーく繋がりでできる範囲で活動してみよう。最初は焦らず振り返りを重ね徐々にブラッシュアップしていくことも大切です。

※上記は全て必須項目ということではありません。地域の実情に合わせて、柔軟に実行してください。

発行 那覇市

令和6年1月 第1版

お問い合わせ 那覇市まちづくり協働推進課 098-861-3846